

共助交通に関する住民アンケート調査

～ 調査結果の概要（速報版）～

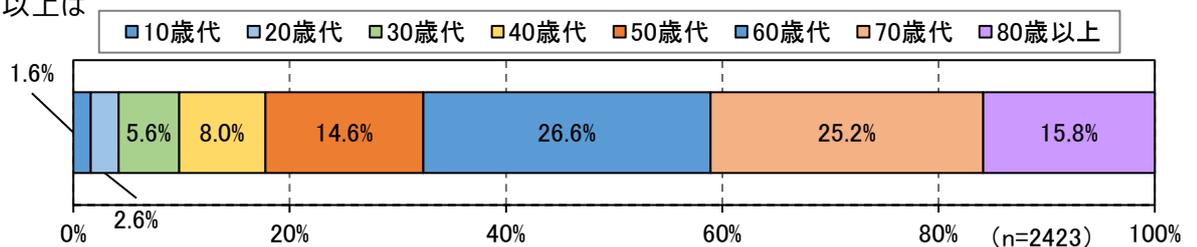
1. 調査の概要

調査対象	青谷町の居住する全世帯（中学生以上）※各世帯に調査票3枚配布
調査方法	自治会による配布・回収（実施期間：令和2年8月～9月）
回収状況	回収票：2,433部 配布数：（回収率：%）

2. 回答者の属性

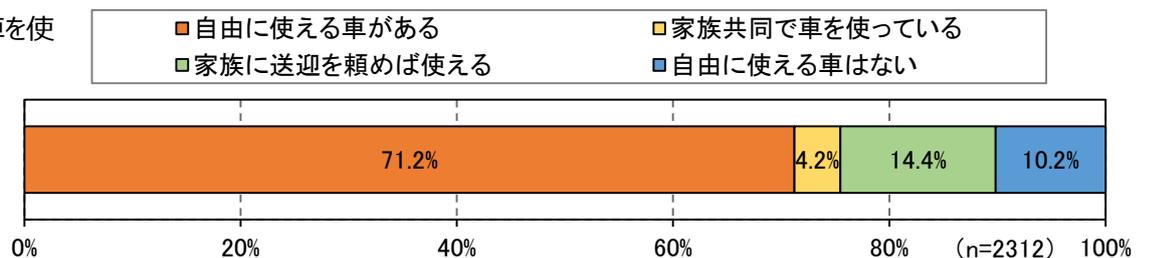
(1) 回答者の年齢層

- 回答者の4割以上は70歳以上



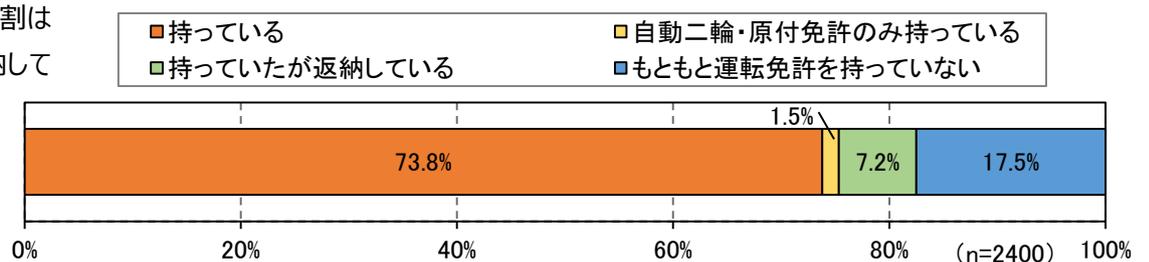
(2) 自由に使える車の有無

- 回答者の1割は車を使えない状況



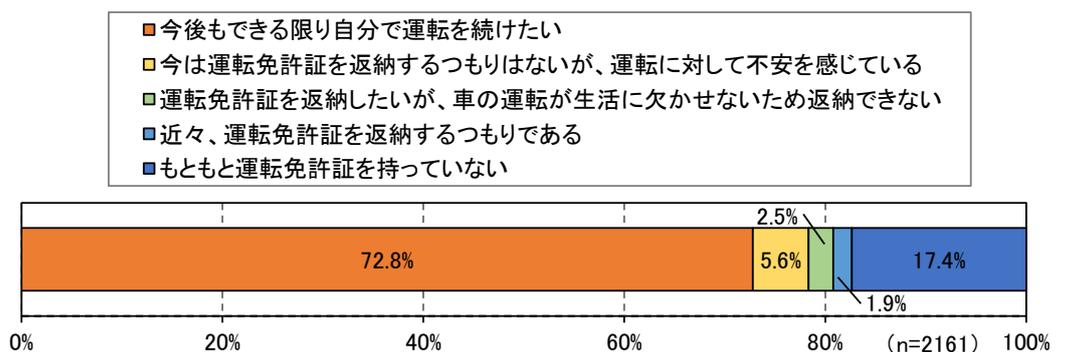
(3) 運転免許証の保有状況

- 回答者のおよそ2割は運転免許証を返納している



(4) 運転免許証の返納についての考え

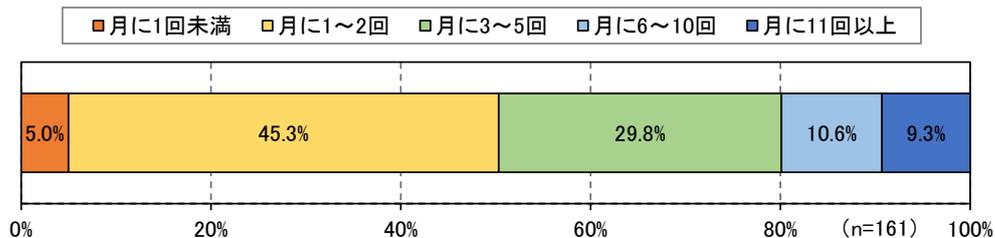
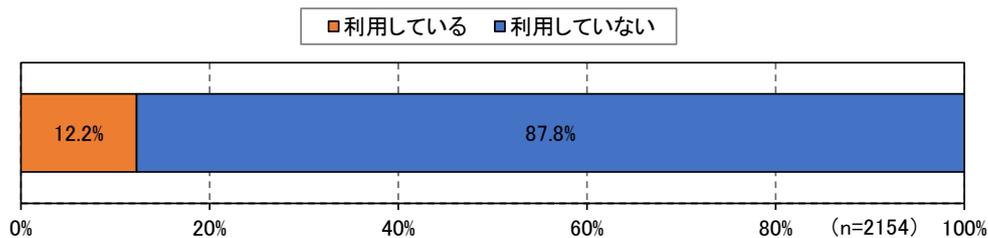
- およそ7割の回答者は今後もできる限り運転を続けたいと回答



3. 日ノ丸自動車の路線バス利用について

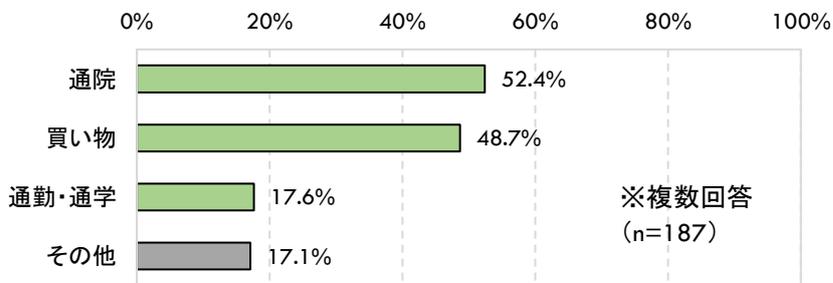
(1) 利用の有無

- バス利用者は全体の 1 割程度
- 月に 1~2 回程度利用する人の割合が多い



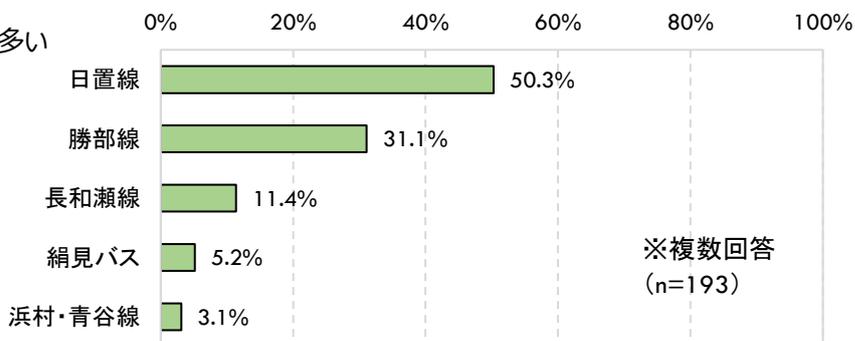
(2) 利用の目的

- 通院と買い物時にバスを利用している



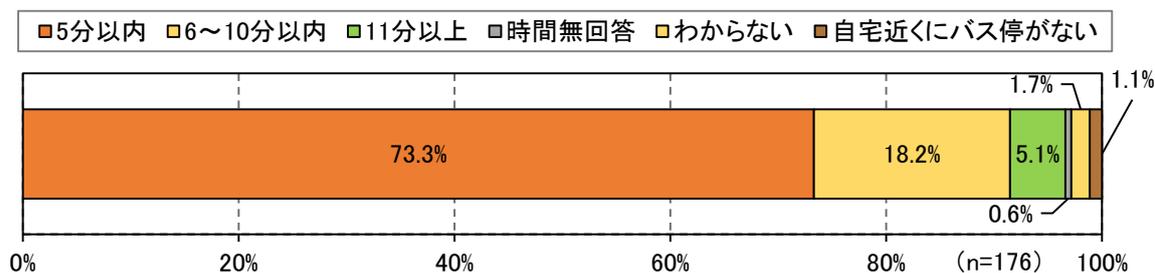
(3) 利用している路線

- 回答者の中では、日置線を利用する人が多い



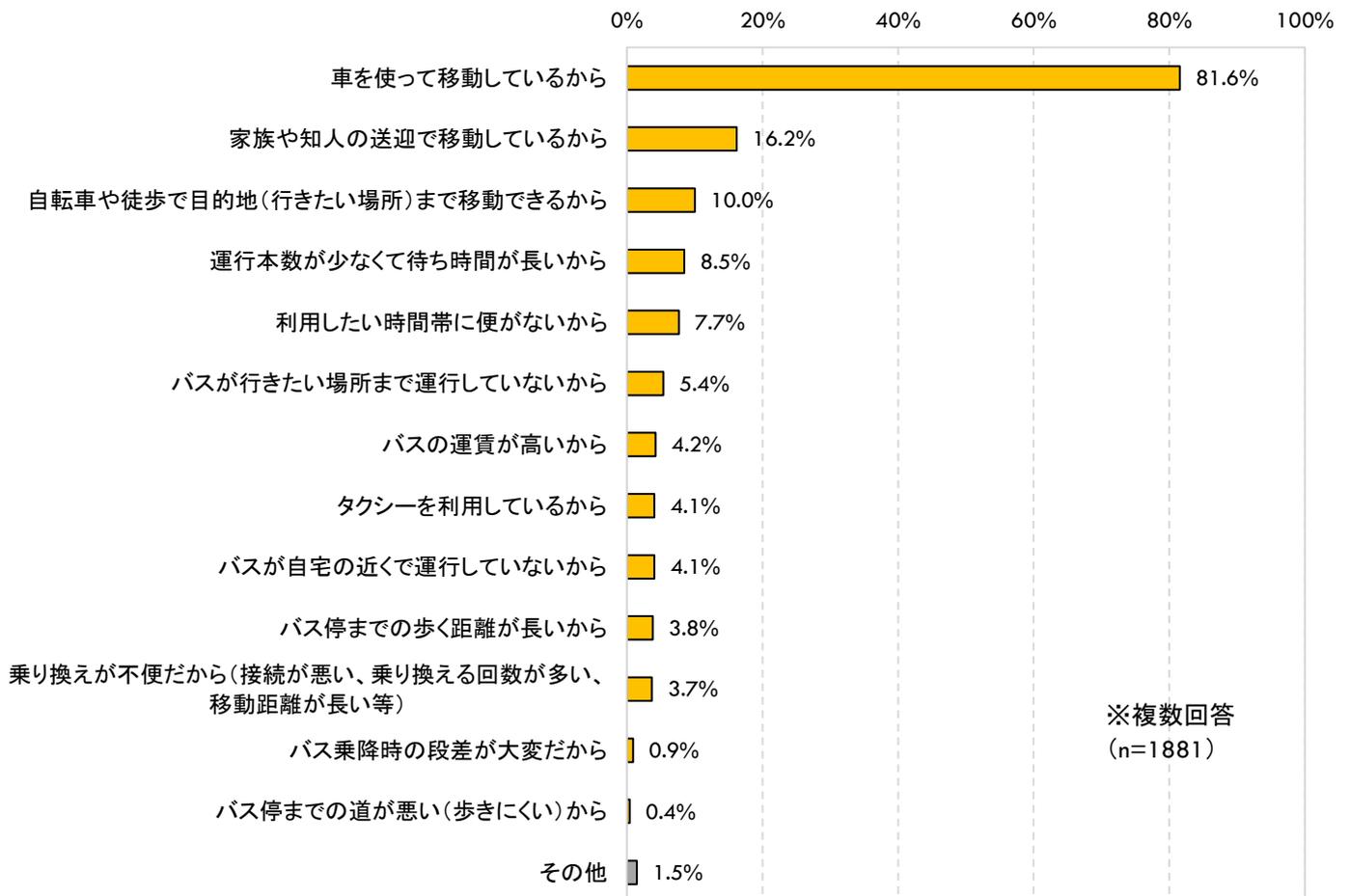
(4) 自宅から最寄りバス停までの時間

- バス停まで 5 分以上、時間がかかる人が全体の 2 割程度いる



(5) 路線バスを利用しない理由

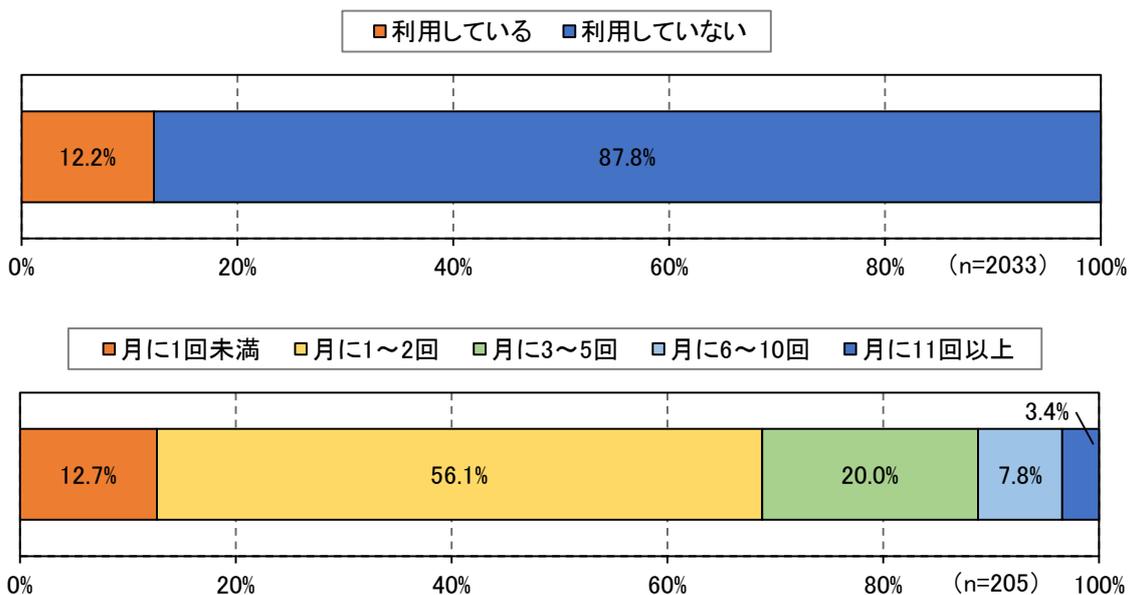
- 車を使って移動しているからが最も多い



4. タクシーの利用について

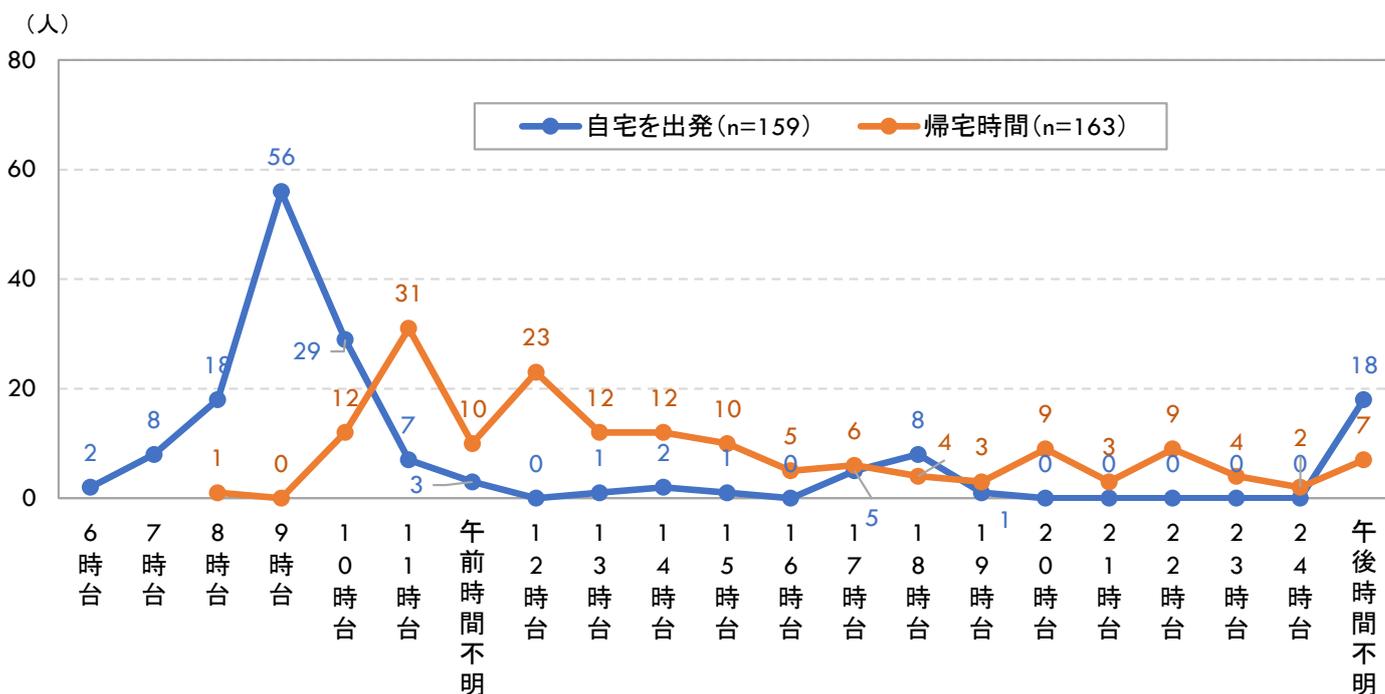
(1) 利用の有無

- タクシーの利用頻度はバスと大きく変わらない



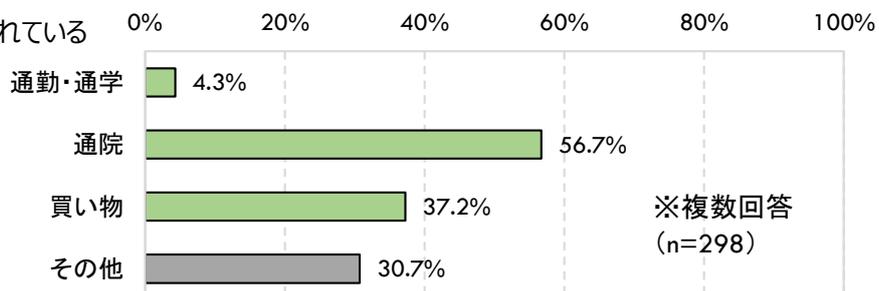
(2) 利用する時間

- 朝の8時台、11時台に利用が集中している



(3) 利用する目的

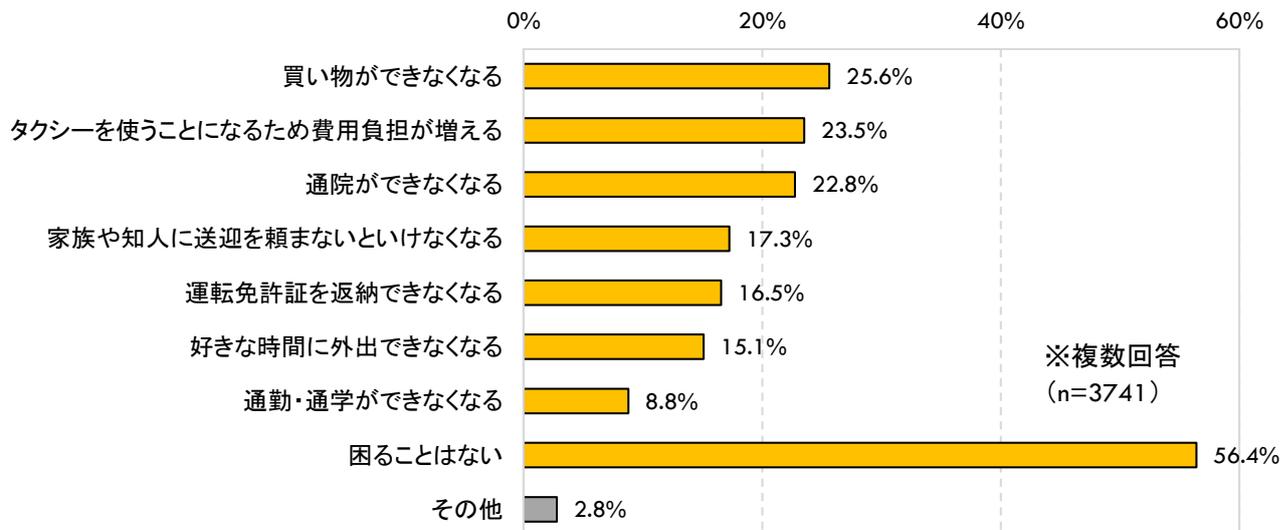
- バスと同様に通院や買い物で利用されている



5. 日中の青谷地域の路線バスについて

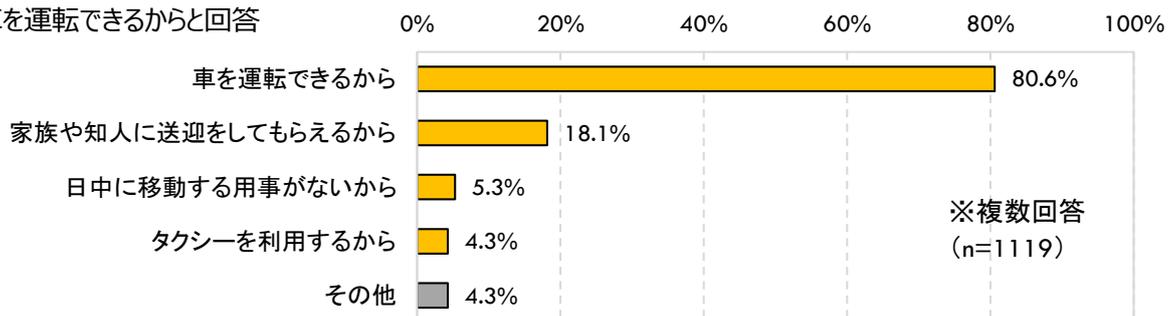
(1) 日中の路線バスが無くなった場合、日常生活でどのようなことが困ると思うか

- 買い物・通院ができなくなること、費用負担が増えることが同程度の割合



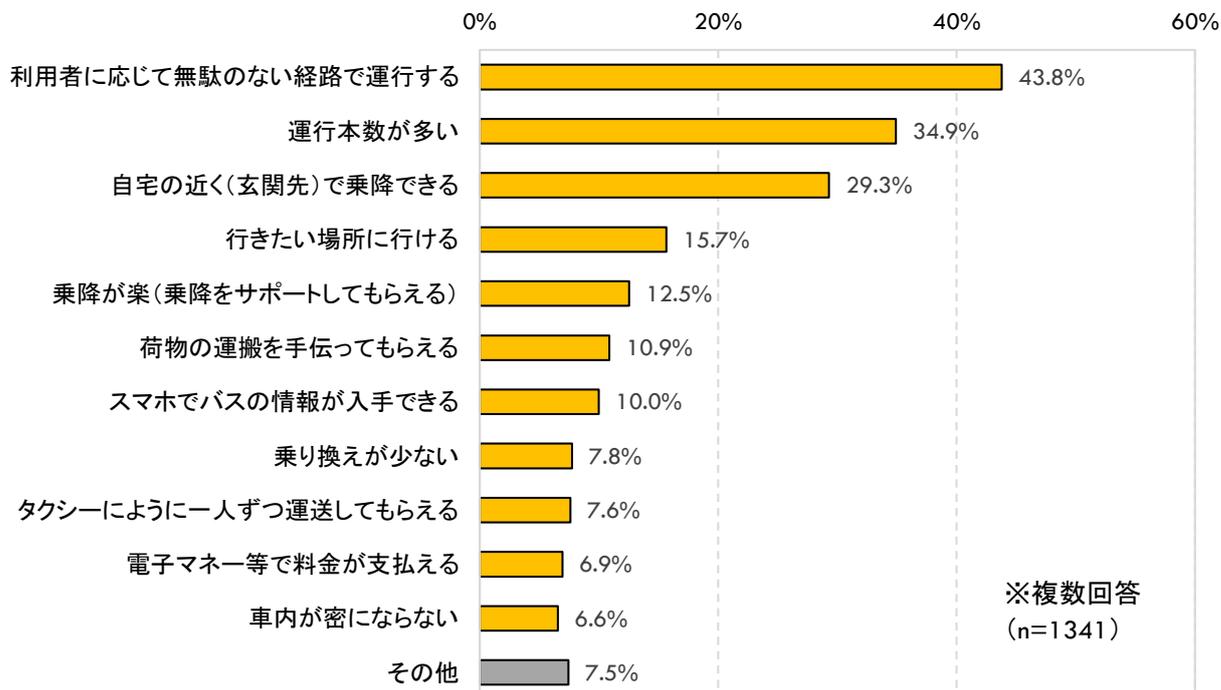
(2) 「困ることはない」と回答した理由

- 多くの人が車を運転できるからと回答



(3) どのような運行になればありがたいと思うか

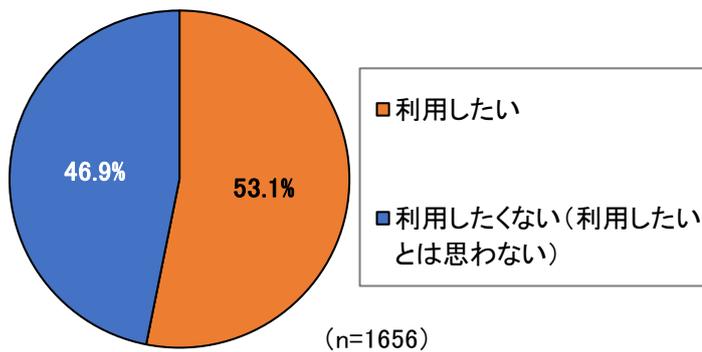
- 利用者に応じた無駄のない経路で運行するが最も多い



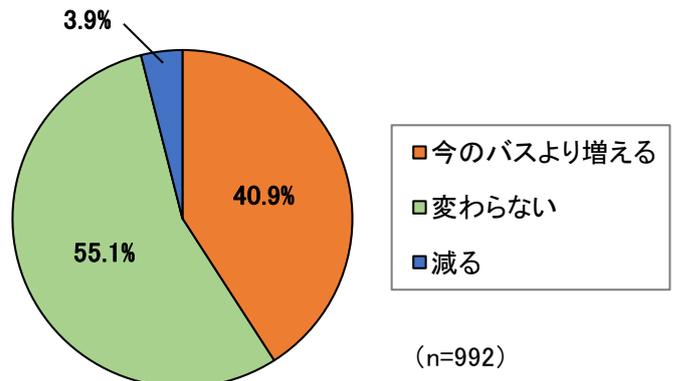
(4) 自宅の近くでバスに乗降できるようになったら

- 利用したい人は5割程度でうち4割が今より利用機会が増えると回答

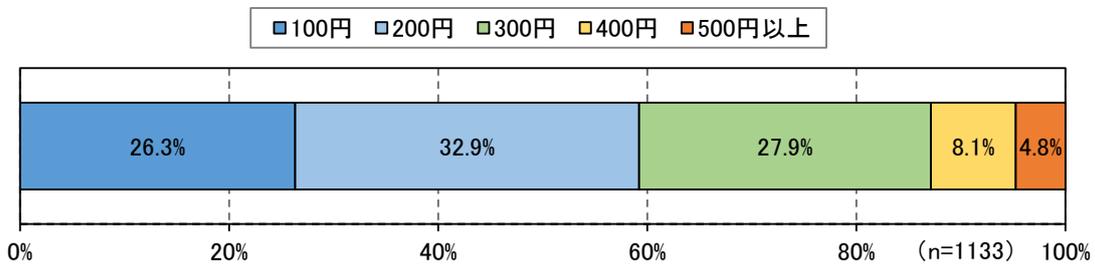
【利用意向】



【利用回数】



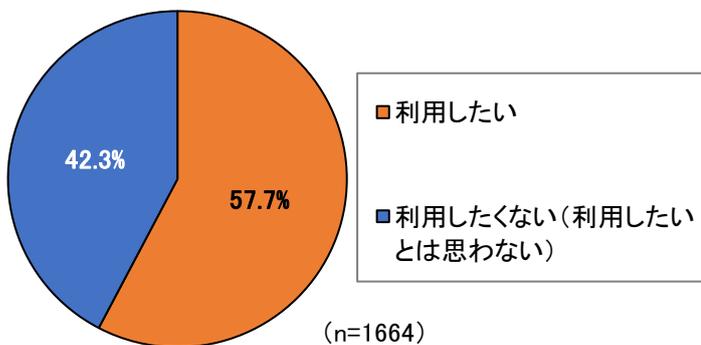
【支払ってもよいと思う金額】



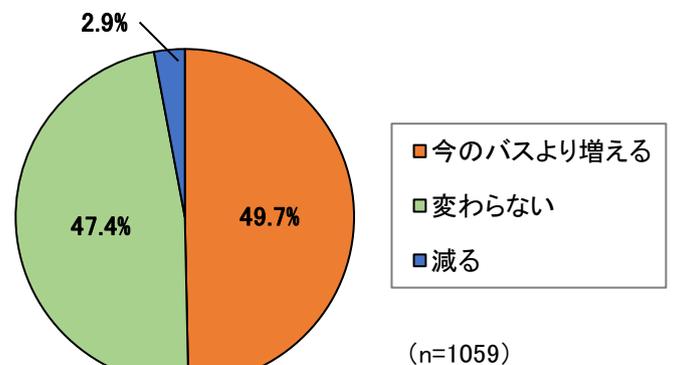
(5) 自分の好きな時間にバスに乗り降りできるようになったら

- 利用したい人は6割程度でうち5割が今より利用機会が増えると回答

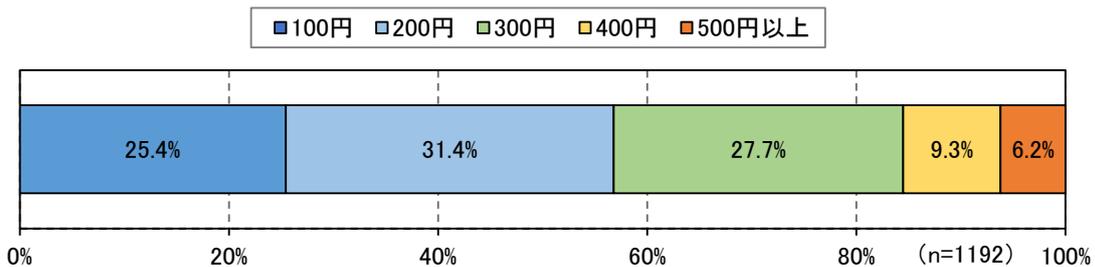
【利用意向】



【利用回数】



【支払ってもよいと思う金額】

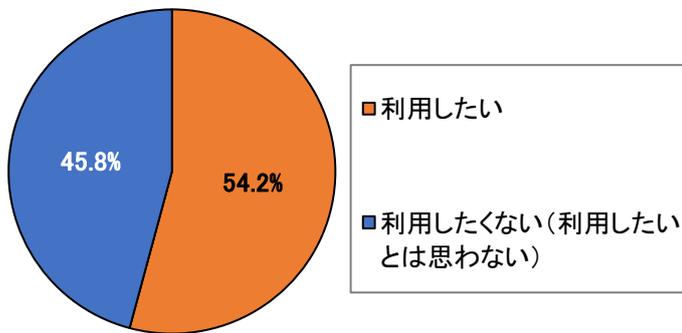


6. 共助交通について

(1) 共助交通が運行した場合の利用意向

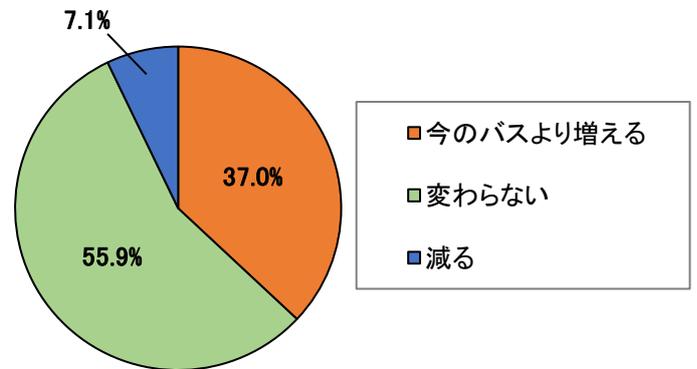
- 利用したい人は5割程度でうち3割が今より利用機会が増えると回答

【利用意向】



(n=1951)

【利用回数】

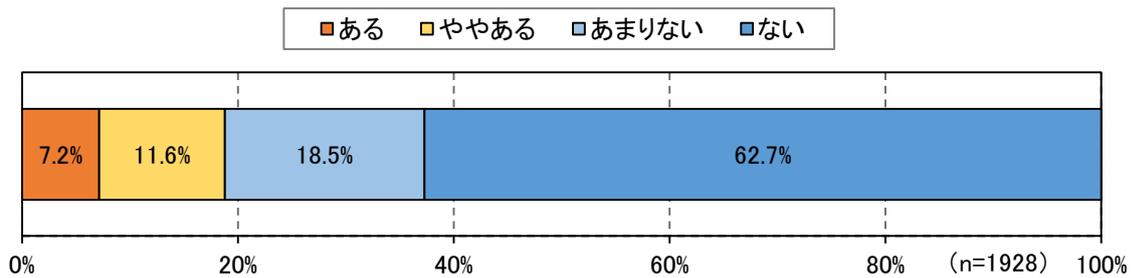


(n=1208)

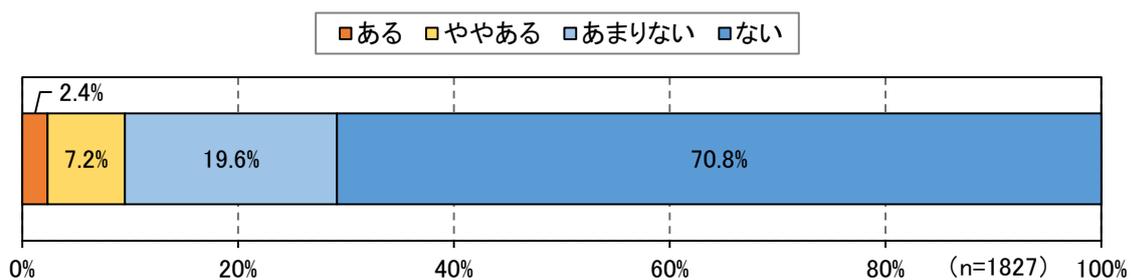
(2) 共助交通の運行や運営に対する協力への関心

【報酬をもらいながら活動する場合】

- 報酬がある場合は1割近く人の協力意向を確認



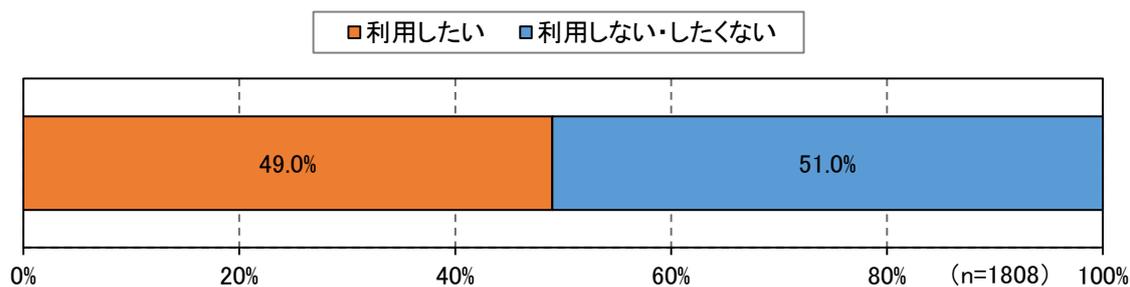
【無償で活動する場合】



7. タクシー運賃の割引制度が今後できた場合について

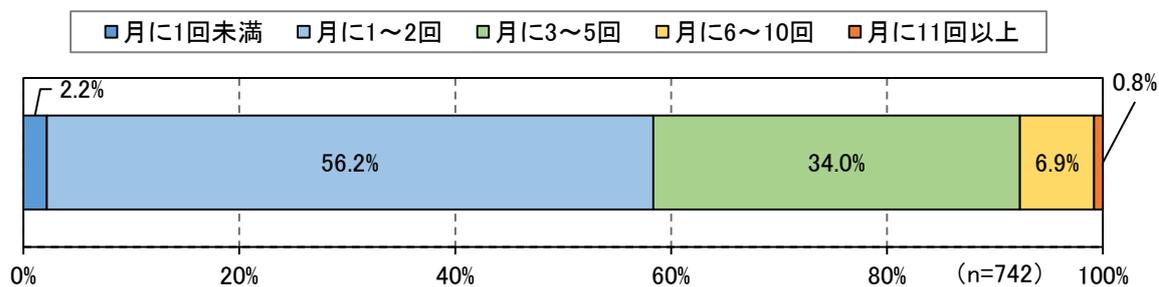
【利用意向】

- およそ5割の人が利用したいと回答



【利用回数】

- 月に1～2回の利用回数が多い



以上